

平成24年度進行管理・評価シート
三好市歴史的風致維持向上計画（平成22年11月22日認定）

■進捗評価シート(様式1)

	頁数
①組織体制(様式1-1)	
1 計画調整担当部署と事業担当部署の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の活用と景観条例の運用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 阿佐家住宅保存修理事業	3
2 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業	4
3 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区建造物保存修理事業	5
4 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	6
5 旧真鍋家住宅保存修理事業	7
6 農地の保全整備と遊休地の活用事業	8
7 鹿庵住宅保存修理事業	9
8 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	10
9 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	11
10 文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	
祖谷平家まつり	12
襖からくり公演会	13
親子でふれあう重でんけん	14
茅刈り体験塾、石積み体験塾	15
「平家落人伝説」探訪ウォーキング	16
蔓橋架け替え資材の確保と育成活動	17
池田のうだつのまち歩き「車座勉強会」・「ガイド養成講座」	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・活用について、文化財の修理(整備)について	19
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	20
文化財周辺の環境保全について、文化財の普及・啓発について	
3 文化財の防災について、埋蔵文化財の取扱いについて	21
市町村の教育委員会の体制について	
保存・活用に関わる各種団体について	
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 平家落人伝説広く発信、三好市指定史跡・中村家墓所の修復完了「石造物の輝き再び」	22
三好の落葉樹 四国最大「高さ20m 樹齢数百年」	
文化財活用し地域活性化「百年蔵」でライブ	
2 三好市の活性化目指し住民有志が団体設立「近くNPO認証申請」	23
祖谷のかずら橋の材料「シラクチカズラ苗木作りを体験」	
激流・奇岩の大歩危小歩危「目指すは国天然記念物」	
3 刻みたばこの加工実演OK、落合伝説題材に新作劇「21日の祖谷平家まつり」	24
襖からくり文化財に「オオヤマレンゲ群落」天然記念物指定	
文化財 火事から守れ 三好・石井で防火訓練	
⑥その他(様式1-6)	
1 文化財の魅力向上につながる取り組み	25
2 三好市固有の地域資源の掘り起こしにつながる取り組み	26
■法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	27

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
計画調整担当部署と事業担当部署の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 事業実施に向けての三好市歴史的風致維持向上計画協議会、三好市文化財保護審議会、三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携を深め、円滑な事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画実施体制に変更はなく、計画調整担当部署と事業担当部署の連携の下、事業が推進されており、他事業においても連絡・調整等の連携強化が波及した。また、円滑な事業推進を図るため、法定協議会の三好市歴史的風致維持向上計画協議会(平成25年5月20日)並びに三好市伝統的建造物保存地区保存審議会(平成24年5月21日、同年12月5日)、三好市文化財保護審議会(平成24年12月13日)をそれぞれ開催し、計画進捗評価について意見を伺った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

計画期間に基づき掲載事業に順次着手しているが、事業ごとに様々な課題が生じており、より密な関係部局との連携が必要である。重点区域内における新たな事業展開が検討されており、歴まち計画との調整が課題となっている。計画期間及び重点区域の見直し、歴史的風致形成建造物の追加指定、歴まち計画関連事業の再要望等について関係部局との協議を進め、近く対応方針をまとめる。

状況を示す写真や資料等



庁内調整会議の開催

文化財課、観光課による打ち合わせ状況

・開催日: H24. 5. 28 H24. 7. 26 H25. 1. 29

・開催場所: 市役所分庁舎、東祖谷総合支所、修理計画現場

・主な議事

- 三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物保存地区内の空き家(特定物件)にかかる24年度以降の保存修理事業の進め方について
- 対象事業のアロケーションについて
- 歴史的風致形成建造物について

三好市歴史的風致維持向上計画協議会の開催

・開催日 H25. 5. 20

・開催場所: 市中央公民館会議室

・主な議事

- 平成24年度分の計画及び事業の進捗状況に関する評価について
- 平成25年度分の事業計画について
- 歴史的風致維持向上施設の指定について



三好市文化財保護審議会の開催

・開催日 H24. 12. 13

・開催場所: 市中央公民館会議室

・主な議事

- 歴史的風致維持向上計画関連事業の進捗状況について
- 文化財の登録、指定について

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地域それぞれが持つ様々な種類の資源による独自の景観特性をはじめ、既存の法規制等の状況に応じたきめ細かく実効性の高い景観づくりを図るため、5つの区分(ゾーン)分けにより定める基本方針に基づき区域内の行為の制限や良好な景観誘導を図る。特に歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域を「歴史的風致ゾーンⅠ・Ⅱ」として、その特性に応じた景観保全整備に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市では、「歴史的風致維持向上計画」の認定に伴い、景観に対する市民の関心が高まる中、平成23年3月「景観計画」を策定、平成23年6月には「景観条例」を制定して、平成24年4月1日に景観条例を施行した。以降、景観重要建造物(樹木)の調査の実施(申請1件(却下))、景観パンフレットの作成、建築関係業者説明会の開催、電気事業者との景観形成協議の実施、公共工事ガイドラインの作成、景観形成重点地区設置に向けての調査・説明会の開催を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本市の景観計画は、市民、事業者、行政、三好市を訪れる方など関係者が一丸となって良好な景観づくりに取り組むことを目指している。そのため届出対象行為外への誘導が課題となる。今後においても、関係者への周知徹底を図るため継続的な啓発活動を行う。

状況を示す写真や資料等

特に三好市歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域の「祖谷渓谷と平家落人伝説に関する区域」を「歴史的風致ゾーンⅠ」に、「箸蔵寺とうだつの町並み周辺区域」を「歴史的風致ゾーンⅡ」に設定し、三好市歴史的風致維持向上計画と連携した良好な景観形成を図ることを目指している。

■三好市景観計画区域のゾーン分け(区分別)



■三好市景観審議会開催状況

■三好市景観計画書(平成23年3月)



■三好市景観計画ダイジェスト版(平成25年3月)



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
阿佐家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～平成25年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)

計画に記載している内容 阿佐家住宅(平家屋敷)の建物を購入し、解体、復原修理を実施する。敷地は徳島県指定区域を借り受け、周囲の建物、屋敷林、庭園等を市の文化財公開施設として、一体管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

前年度から引き続き所有者との主屋買取り協議を進め、売買契約を締結した。また、文化財的価値を損なわず、周辺景観にも配慮した代替住宅の建築、外構工事の実設計計に向け、所有者及び関係機関(県文化財保護審議会、県教委等)と継続的な協議を進めた。このほか、主屋の仮設・解体工事の設計監理委託を行い、事業に着手した。

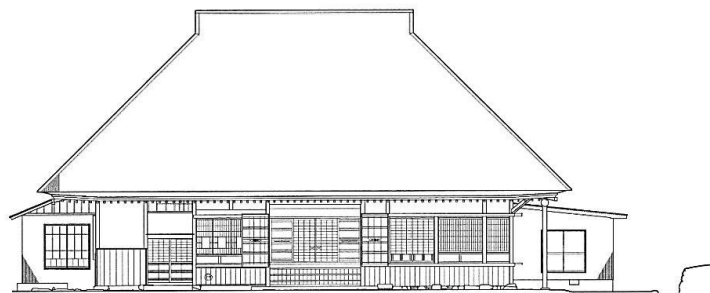
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祖谷平家伝説ゆかりの地であり、代々受け継いできた歴史的建造物(文化財)であるため、買取り協議に時間を要した。このため、今年度計画の仮設・解体工事の発注が遅れた。また、主屋解体に伴い建築される代替住宅が文化財指定区域内に建築が予定されているため、関係機関への手続きや実設計等に時間を要している。事業期間の見直しが必要(27年度末まで延長の見込み)

状況を示す写真や資料等

【図面及び現況写真】



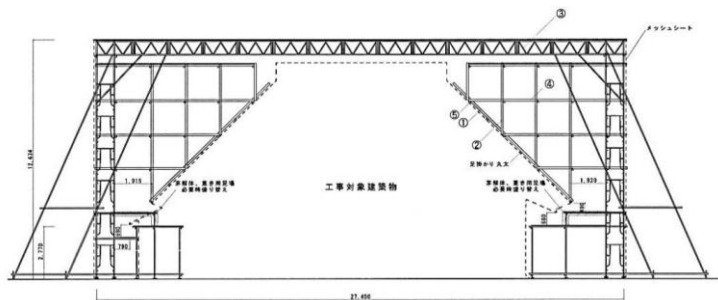
阿佐家住宅主屋の現況(正面)



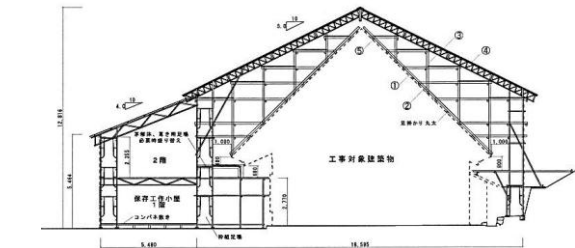
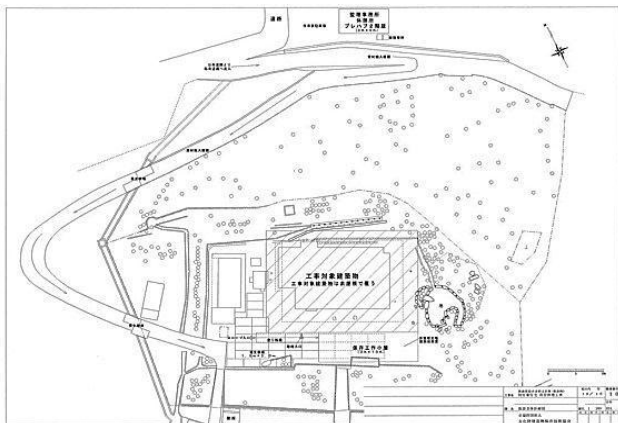
阿佐家住宅立面図



阿佐家住宅の式台玄関



阿佐家住宅素屋根桁行断面図



阿佐家住宅素屋根梁間断面図

阿佐家住宅仮設全体計画

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助

計画に記載している内容 保存地区の住宅7棟の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度
 ●柿平家(主屋)の屋根、外壁の保存修理が完了 ※屋根はトタン葺きの葺き替え(改修)、外壁はひしやぎ竹等に改修
 ●長岡家(主屋)の屋根、外壁の保存修理が完了 ※屋根はトタン葺きの葺き替え(改修)、外壁はひしやぎ竹等に改修

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者からの要望のもと、計画的な保存修理事業を進めているが、費用負担や管理面でトタン屋根から茅葺屋根に復元することへの所有者の理解が得られにくい状況にある。このため、所有者や管理者に対し、伝統的建造物群保存地区の保存方針に対する理解や協力を求めていく取り組みや費用負担の軽減を図る仕組みづくりの検討が必要である。

状況を示す写真や資料等

柿平家主屋保存修理(施工前)



柿平家主屋保存修理(完成)



長岡家主屋保存修理(施工前)



長岡家主屋保存修理(完成)



**評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区建造物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------------------------	---

事業期間	平成22年度～平成25年度
------	---------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(地域住宅計画に基づく事業)
-------	-----------------------------

計画に記載している内容	保存地区の空き家8棟を改修し、古民家住宅として活用を図る。
-------------	-------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区内で空き家となっている特定物件(建造物)を「修理」の対象に、それ以外の建造物を「修景」の対象として事業を行っており、平成24年度では特定物件4棟の修理工事及び非特定物件1棟の修景工事にかかる実施設計委託を行った(修理工事及び修景工事は平成25年度を予定)。
 (新家)主屋・隠居屋の保存修理(茅葺き屋根への葺き替え、外壁(ひしやぎ竹)の改修など)、離れ屋の保存修景(外壁の改修など)
 (曾我家)主屋・隠居屋の保存修理(茅葺き屋根への葺き替え、外壁(ひしやぎ竹)の改修など)
 ※平成24年4月からの開業であるが、24年中(H24. 4月～H24. 12月/9か月)で、806人の利用があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	25年度から文化庁と国土交通省の2つの事業の使い分けによるアロケーションで実施することとなり、その両事業の調整が難しく、関係部局、設計業者との十分な調整、協議が必要である。

状況を示す写真や資料等



特定物件の空き家「新家」施工前 (創建当初の内容で保存修理を行う)



特定物件の空き家「新家」設計協議



特定物件の空き家「曾我家」設計協議



特定物件の空き家「曾我家」施工前(創建当初の内容で保存修理を行う)

**評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 保存地区の建造物の屋根の塗り替え及び張り替えを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

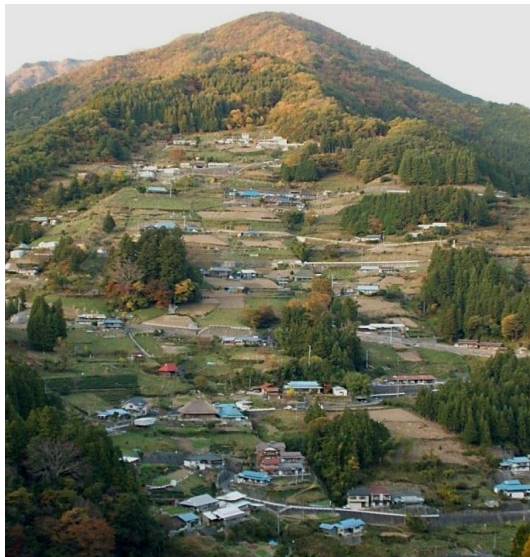
24年度も引き続き、保存地区内にある個人所有建造物を対象に屋根の塗り替え及び張り替えに対する助成を行い、景観改善が図られた。

平成24年度： 21棟(12件)の塗り替えを実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地区内では景観に配慮した色に屋根の塗り替えが進む一方で、空き家以外の特定物件建造物の屋根を茅葺に戻すのが難しい状況にある。このため、所有者や管理者に対し、伝統的建造物群保存地区の保存方針に対する理解や協力を求めていく取り組み(ワークショップ開催等)や費用負担の軽減を図る仕組みづくりの検討が必要である。

状況を示す写真や資料等

- 伝統的建造物群保存地区の景観改善を図る特定物件の屋根の塗り替え
※保存活用ガイドラインに沿った色彩(こげ茶)に統一



修景を行う前の保存地区全景

修景事業が進む保存地区全景

**評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

評価対象年度 平成24年度

項目

現在の状況

旧真鍋家住宅保存修理事業

実施済
 実施中
 未着手

事業期間 平成24年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 うだつの家、たばこ資料館の保全改修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

池田町のうだつの町並みを象徴する旧商家で市指定有形文化財に指定されている旧真鍋家住宅の離れ座敷が近年、老朽化による雨漏り等で屋根や内部の一部で、き損が深刻化しているため、保存修理工事を実施した。また、施設が市歴史的風致形成建造物となっているため、その価値を損なわないための工程・工法をとるための事前調査や設計協議に時間を要した。工事は、離れ座敷の本屋根(2階)及び下屋根(1階)を創建当初の本瓦に葺き直し、経年劣化による損傷が確認された役物瓦の修復、漏水や白蟻による損傷が確認された屋根下地材の修復等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【図面及び現況写真】



離れ座敷保存修理(施工前)



き損状況(漏水によるもの)



き損状況(漏水によるもの)



き損状況(老朽化によるもの)



き損状況(白蟻によるもの)



離れ座敷保存修理(施工中)



離れ座敷保存修理(完了)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
農地の保全整備と遊休地の活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～平成25年度		
支援事業名	耕作放棄地再生利用交付金		
計画に記載している内容	歴史的風致維持向上施設周辺の農地の保全と遊休地の活用を図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○耕作放棄地再生利用緊急対策事業・・・耕作放棄地再生利用交付金を活用し、耕作放棄地解消や地域農業活性化のための農地再生(土壌改良、作付け等)を行った。
 ○耕作放棄地解消に向けた啓発活動・・・「全国一斉耕起の日」の記念行事として、「耕作放棄地再生作業、機械実演会」を隣接の東みよし町の協議会と共催で開催した。JAアグリサポート(JAの農業作業受託機関)が耕作放棄地を乗用草刈機等を用いて再生することで、耕作放棄地解消を啓発し、また同機関を利用しての再生を促した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

山間地における高齢化の進行と後継者不足による遊休地(耕作放棄地)の解消が課題となっている。このため、山間地での遊休地を解消するための活動の一つとして、茅葺屋根用資材として調達が急がれる力やを確保するための計画的な力や場再生を検討する必要がある。現在の対策事業を市内全域に広げるための今後の継続的な取り組みが必要である。

状況を示す写真や資料等



再生作業(土壌改良)前の耕作放棄地 (三野町)



再生作業を行っている様子



再生作業(土壌改良)が完了した耕作地 (三野町)



普及啓発イベントの開催状況
 (イベント名)耕作放棄地再生作業実演会
 (開催日及び開催場所)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

簾庵住宅保存修理事業 事業期間 平成23年度～平成24年度 支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)	■実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--	--

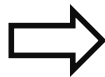
計画に記載している内容	簾庵住宅の保存修復を実施する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成23年度において、保存修理工事が完了したため、平成24年度(完了後)は、交流(宿泊)施設として活用が図られた。平成24年8月からの開業であるが、24年中(H24. 8月～H24. 12月/5カ月)では、117人の利用があった。	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設の活用促進を図るため、簾庵住宅周辺にある文化財や文化的施設等とのタイアップが必要である。

状況を示す写真や資料等



保存修理前の簾庵住宅(平成22年度)



保存修理が完了した簾庵住宅(平成24年度)



交流施設として公開・活用が図られている簾庵住宅

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度

支援事業名 重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助

計画に記載している内容 保存地区の特定物件となっている石垣の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

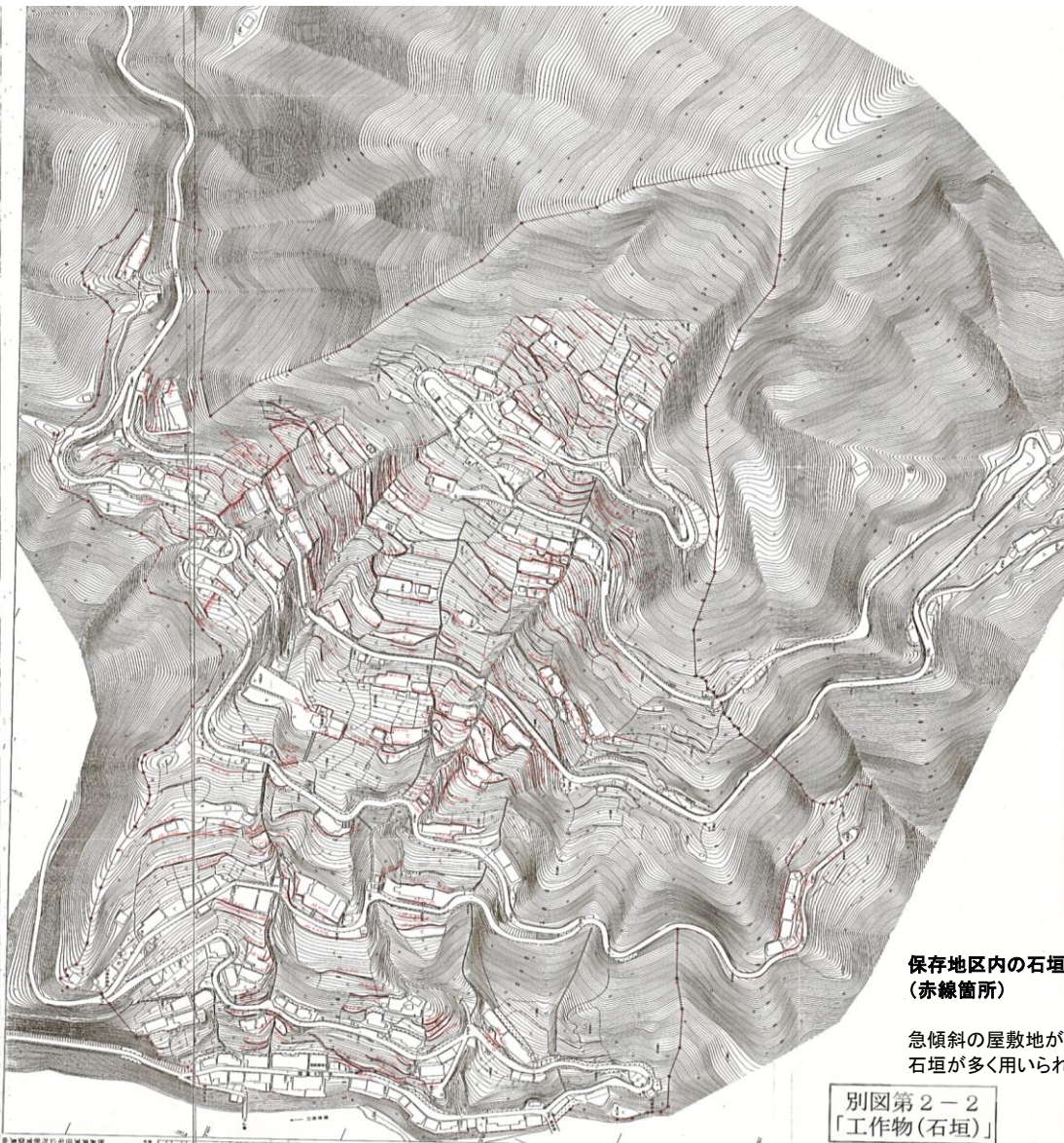
平成24年度においては、保存地区内で崩壊した石垣が確認されなかったため、石垣の保存修理を実施していない。(平成23年度では石垣の崩壊が確認されたので、保存修理を行った。)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

修理の実施にあたっては、保存地区内で継承されている伝統的工法により、実施する。また、既存の石垣を崩壊させないための取り組み(日常の点検やメンテナンスなど)を地元保存会等と検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	

三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------------	---

事業期間	平成23年度から平成24年度
------	----------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(効果促進事業)
-------	-----------------------

計画に記載している内容	保存地区内の道路構造物等景観を阻害している工作物の改修を実施する。
-------------	-----------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内の道路美化を平成23年度及び平成23年度繰越事業で実施した。(平成24年8月末完了)
 東祖谷落合地区、菅生地区の2地区で道路美化(カラー舗装工)を行い、景観改善が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画当初にあったガードレールの美化については、安全面及び機能面、景観面に配慮した工種、工法等を検討したが、既設道路の幅員確保等の関係から24年度は未施工となったが、今後地区内の景観改善を図るため、施工ができるよう事業期間の見直しが必要である。
--	---

状況を示す写真や資料等



道路美化前(平成23年度)／東祖谷落合地区



道路美化後(平成24年度)／東祖谷落合地区



道路美化前(平成23年度)／東祖谷落合地区



道路美化後(平成24年度)／東祖谷落合地区

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度

平成24年度

項目

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 実行委員会単独事業

計画に記載している内容 祖谷平家まつり

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祖谷平家まつり／地元実行委員会が主催となり、祖谷平家落人伝説を題材にした創作劇や武者行列のほか、祖谷地方に継承される伝統芸能が披露され、地域資源を活用した啓発活動や伝統文化の継承が図られた。

開催日：H24. 10. 21 かずら橋夢舞台(西祖谷山村)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



祖谷平家まつりで披露された祖谷落人伝説を題材にした創作劇

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成24年度
項目		現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度から平成25年度		
支援事業名	保存会単独事業		
計画に記載している内容	襖からくり公演会		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
襖からくり公演会／市指定有形民俗文化財に指定されている「後山からくり襖絵」と「徳善からくり襖絵」を保存・継承する地元保存会が襖からくりの公演会を開催し、伝統文化の継承や文化財保護への啓発が図られた。			
開催日：平成24年10月 6日 後山農村舞台（西祖谷山村）、平成24年10月13日 徳善阿弥陀堂（西祖谷山村） 平成24年10月20日 徳善阿弥陀堂（西祖谷山村）、平成24年10月27日 後山農村舞台（西祖谷山村）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



地元保存会により公演された「襖からくり」

後山からくり襖絵が10枚1組、徳善からくり襖絵が9枚1組からなり、それぞれ伝統的な操作技術によって、襖絵が左右、縦、横、斜めに巧みに回転し、図柄が次々と見事に変化していく様が見事である。



評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成24年度
項目	現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 団体単独事業

計画に記載している内容 親子でふれあう重でんけん

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

親子でふれあう重でんけん／平成24年度において三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区内でNPO法人による田植え体験、稲刈り体験が実施され、文化的・歴史的な景観保全や文化財保護への理解に対する普及・啓発が図られた。

- 田植え体験／田植え祭り 平成24年6月15日実施
- 稲刈り体験／稲刈り祭り 平成24年10月9日実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統的建造物群保存地区内にある水田で行われた田植え体験



伝統的建造物群保存地区内にある水田で行われた稲刈り体験

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成24年度

項目

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 協議会単独事業

計画に記載している内容 茅刈り体験塾、石積み体験塾

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

茅刈り体験塾、石積み体験塾／平成24年度においては、地元保存会が茅刈り作業を実施したが、体験型の茅刈り作業は実施できていない。しかしながら、地元保存会と地元NPO法人が連携協力し、三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区を訪れた観光客や宿泊客を現地案内する「落合集落ガイド」やこの地域に伝わる食文化を体験していただく「そば打ち体験」が実施され、地域資源を活かした啓発活動や文化財保護への取り組みが進められた。

参加状況: 落合地区ガイド 12回、 そば打ち体験: 7回

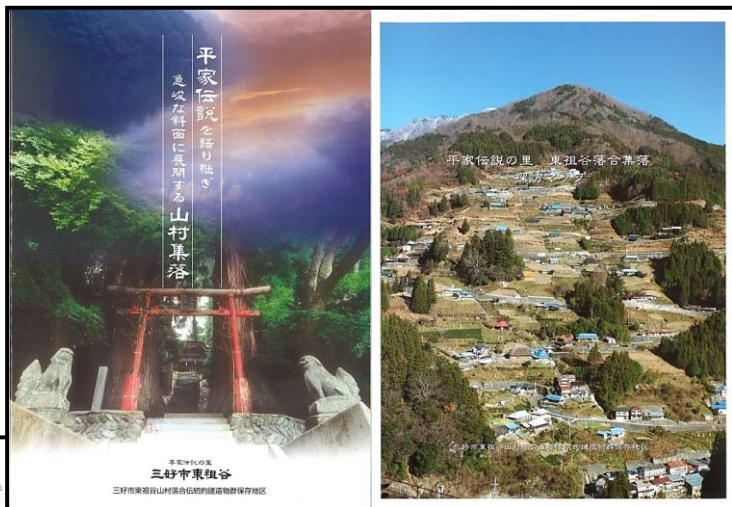
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

石積み体験については、地区内で崩壊が確認されなかったため、実施していないが、日頃から石積みを崩壊させないメンテナンス的な取り組みが必要である。

状況を示す写真や資料等



○落合集落の概要
落合は東祖谷のほぼ中央、祖谷川と落合川の合流地点より山の斜面に沿って広がる集落である。集落の起源は不明だが、平家の没入直後や源頼朝の没後など、戦国時代には落合氏が惣領として戦ったことが確認され、中には集落が形成されたといわれる。近世に入ると徳川や幕末などの戦乱が確認され、昭和40～50年頃まで茶畑や各種果樹、水産物の生産や農業を行う山村として維持されていた。
保存地区は東西約750m、南北約500m、面積約32.3haの範囲であり、地区内の高低差は約30mに達する。斜面を下る集落と、等高線に沿って東西にのびる集落とのフレームを形成し、この集落の間に道を設けて集落地や斜面に立寄る。集落地は地区内の全域に散在し、その斜面に耕作地が配されている。崖地や耕作地は等高線に沿った細長い形状で、石積を積み、造られている。
保存地区は、山の中腹から麓にかけて立地する山村集落であり、江戸中期から末期に建てられた主要な多くは、畑など耕作地や土蔵、石垣、土蔵など周辺環境とともに一体的な歴史的背景をよく伝えており、その価値は高く評価されている。

○崖地石垣
崖地を支える石垣は、崖状に割削しやすい性質をもった結晶片岩で、メソクマヤクと呼ばれる石材で造られている。土壌を造成した際に崩壊した石を主に利用。崖地の場合は大きい石、傾斜その他小さい石の使用する。
美しい形状の石を、小口を見せるように積み重ね、「だるま積み」といわれている。石垣の頂部は、石の長手と短手間を交互に積み上げる「算内積み」という積み方である。
崖地の石垣は比較的丁寧に積まれ、高さも高いものとなっている。

保存地区全体図

ため、水平に石を敷き詰めた後、粘土質の上を盛り、その上から粘土をいれている。石垣の内側にはモルタル等を塗り、瓦や鉄板で崩からの水漏れを防いでいる。
積の石垣は全般的に細い石で積まれ、高さも1～1.5メートル程度、土の流出を防ぐための土留としての役割を果たしている。

○崖道(赤松園)
峠から川へ下る集落と、等高線に沿って通る集落とが地区内に縦横に設けられている。崖道では路面に平たい石、傾斜の急な箇所には階段状に石を敷き、石垣は比較的低くつなげます。崖道の敷設はもともと生活道として利用され、藪りやお盆などの前に踏面や石垣の補修、草取りなどがなされます。

伝統的建造物群保存地区を「平家伝説の里」として設定し、ここを訪れる観光客等の探訪用に作られたガイドマップ (H18作成、H24再印刷)

**評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

評価対象年度 **平成24年度**

項目

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 団体単独事業

計画に記載している内容 「平家落人伝説」探訪ウォーキング

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「平家落人伝説」探訪ウォーキング/地元有志で組織される体験塾のメンバーが平家落人伝説の語りべとなり、落人伝説の伝承地(平家屋敷:阿佐家住宅、平家の赤旗など)を巡る「かたりべと探訪ウォーキング」が実施した。地域資源を活かした山村集落景観保全や文化財保護への理解に対する普及・啓発が図られた。

24年度ウォーキング参加者数: 260人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



平家落人伝説探訪ウォーキング用に作られたガイドマップ (H23作成、H24からウォーキングで活用)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成24年度

項目	現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 祖谷のかずら橋架け替え資材確保実行委員会

計画に記載している内容 蔓橋架け替え資材の確保と育成活動

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

蔓橋架け替え資材の確保と育成活動／地元実行委員会の「祖谷のかずら橋架け替え用資材確保実行委員会」が主体となり、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の架け替え用資材となるシラクチカズラの保護や育成のための活動を実施し、文化財保護活動と地域資源を活用した啓発事業が図られた。

・苗木の林地植栽 平成24年6月28日 ・苗木作り体験 平成24年7月20日 ※地元中学生が参加

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



苗木作り体験
(地元中学生が実行委員会のメンバーから指導を受けながらシラクチカズラの苗木作りを体験した)



苗木植栽活動
(地元実行委員会が林地にシラクチカズラの苗木約150本を植栽した)



苗木保護活動
(地元実行委員会が苗木保護用に設置しているシカ除けネットの点検と補修を行った)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度 平成24年度

項目

現在の状況

文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成22年度から平成25年度

支援事業名 三好市観光協会

計画に記載している内容 池田うだつのまち歩き「車座勉強会」・「ガイド養成講座」

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

池田うだつのまち歩き「車座勉強会」「ガイド養成講座」/市観光協会主催による池田うだつのまち歩きガイド養成研修が実施された。地域資源を活用した町並み保存や観光振興への理解に対する普及・啓発が図られた。

開催日: H25.1.24 参加人数:22人 開催場所:香川県琴平町

内容: 三好市と歴史的にも縁がある香川県琴平町に足を運び、地元の町並みガイドから「こんぴら山下まち歩き」を巡りながらのガイド養成研修を受けた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



三好市と歴史的にも縁がある香川県琴平町でのガイド養成研修

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用について ●文化財の修理(整備)について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
 ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
 ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
 ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の保存・活用について
 市内の伝統的な町並み調査の実施(井川町辻地区)、市指定文化財の新規指定(2件)
 ●文化財の修理(整備)について
 阿佐家住宅保存修理(P3参照)、旧真鍋家住宅保存修理(P7参照)、伝統的建造物群保存地区保存修理(P4~P5参照)、伝統的建造物群保存地区修景事業(P6参照)、市指定文化財保存修理(3件)、県指定文化財保存修理(1件)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市内で大切に保存・継承されている民俗芸能(伝統行事)が過疎・高齢化等による後継者不足により、保存継承が次第に難しくなっているが、用具・衣装の修理に関しても会員減少などで保存会の自主的な活動が困難となっている。このため、市(県・国)による支援が一層必要である。

状況を示す写真や資料等



市指定文化財の新規指定(徳善からくり襷絵)
 指定日:H24. 12. 20



市指定文化財の新規指定(高ノ瀬オオヤマレンゲ群落)
 指定日:H24. 12. 20



井川町辻の町並み調査(H24. 4~H25. 3)



中村家墓所保存修理
 (き損が進んでいた市指定史跡の中村家墓所にある墓石、石灯籠、記念碑を修理した)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用を行うための施設について ●文化財周辺の環境保全について ●文化財の普及・啓発について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・伝統的建造物の公開に努め、交流施設としての活用を推進する。
- ・文化財及び歴史的風致の普及啓発を図るための回遊性を高める案内標識、説明板等を整備する。
- ・文化財と農村集落が一体となった良好な環境の畑地や森林の保全に努める。
- ・文化財に親しんでもらうためのパンフレットやマップ作成等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用を行うための施設について/説明板及び標柱の整備(2基)
- 文化財周辺の環境保全について/市景観条例の施行(P2参照)
- 文化財の普及啓発について/文化財冊子用写真撮影、市ホームページを活用した情報発信、文化財パンフレットの作成
- 伝統的建造物の公開と交流施設としての活用/旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)の公開、重伝建落合地区での交流施設(宿泊施設)の活用

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

広い市域に点在する文化財は約120件あり、これらを巡る場合、特に山間部を通るアクセスルートが複雑である。それぞれの文化財をつなぐための周遊ルート設定や案内板の整備が急がれている。文化財説明板の設置に際しては、景観やメンテナンス等、目的に合わせた規格・仕様を検討し、関係部局とのサインポリシーの調整が必要である。

状況を示す写真や資料等



文化財説明板の整備
(H24年度 徳善からくり襖絵 市指定)



市ホームページを活用した情報発信
(2件の文化財指定を紹介)



伝統的建造物の公開と活用
市指定有形文化財:旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)



伝統的建造物の公開と活用
三好市東祖谷山村落合重要伝統的建造物群保存地区
特定物件:中尾家住宅(宿泊施設として活用 H24. 4~)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成24年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の防災について ●埋蔵文化財の取扱いについて ●市町村の教育委員会の体制について ●保存・活用に関わる各種団体について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
- ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
- ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
- ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の防災について/防火訓練の実施(旧三野町役場庁舎)、市CATV、市報による普及啓発
- 埋蔵文化財の取扱いについて/試掘調査:(2件)
- 保存・活用に関わる各種団体について/文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業、組織の維持と担い手育成を図るための団体運営補助金の継続(18団体)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・市指定文化財等の防災設備が未整備の状況となっている。このため、施設の所有者に対し、早期の設備整備に向けた理解と協力を得るための継続的な働きかけが必要である。
 ・文化財の保存活用を進めるには、所有者や地域だけでなく、関係団体との連携も重要であるため、関連事業の情報提供や活用に向けた方策を考えるための意見交換や情報交換を継続的に行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



国登録有形文化財旧三野町役場庁舎での防火訓練
(実施日:H25. 1. 27)



重要文化財木村家住宅での防災設備の保守点検
(実施日:H24. 9. 2)



埋蔵文化財試掘調査の状況
(H24. 6. 23 井川町佃地区)



祖谷文化伝承まつりの状況(H24. 10. 28 徳善阿弥陀堂)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
●平家落人伝説広く発信	H24.6.14	徳島新聞
●三好市指定史跡・中村家墓所の修復完了「石造物の輝き再び」	H24.6.15	朝日新聞
●三好の落葉樹 四国最大「高さ20m 樹齢数百年」	H24.7.3	徳島新聞
●文化財活用し地域活性化「百年蔵」でライブ	H24.7.21	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

平家落人伝説 広く発信
24.6.14(火)
三好市東祖谷の平家落人伝説が、徳島の歴史を伝える重要な役割を果たしている。東祖谷の小西さん(68)が、徳島大学図書館で講演し、平家落人伝説の魅力を語り、多くの人々の関心を呼び起した。

東祖谷の小西さん
地元宿泊施設で朗読会

H24. 6. 14 徳島新聞

三好の落葉樹 四国最大
H24.7.3(土)
三好市東祖谷の山に、高さ20メートル、樹齢数百年の落葉樹が生えている。この樹は、四国最大のもので、市文化財に指定されている。専門家「市の文化財に」

H24. 7. 3 徳島新聞

「百年蔵」でライブ
24.7.21(日)
三好市で活躍する地域おこし協力隊の森下敬太さん(23)一同市井川町西井川一らが企画したライブイベント「秘響×隣(へそ)no World」が8月19日、同市池田町川崎のギャラリー「百年蔵」で開催された。百年蔵は旧酒蔵と煙突が国の登録有形文化財になっており、古風で趣のある建築物を有効活用し、地域の活性化を図る。

文化財活用し地域活性化
「百年蔵」でライブ

来月19日 三好市の協力隊企画

H24. 7. 21 徳島新聞

石造物の輝き再び
24.6.15(日)
三好市史跡 中村家墓所の修復完了
江戸時代の城下町・池田の五輪塔、墓石、記念碑の面影を今に伝える三好市池田町サタの市井川一らが企画したライブイベント「秘響×隣(へそ)no World」が8月19日、同市池田町川崎のギャラリー「百年蔵」で開催された。百年蔵は旧酒蔵と煙突が国の登録有形文化財になっており、古風で趣のある建築物を有効活用し、地域の活性化を図る。

H24. 6.15 朝日新聞

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
●三好市の活性化目指し住民有志が団体設立「近くNPO認証申請」	H24.8.29	徳島新聞
●祖谷のかずら橋の材料「シラクチカズラ苗木作りを体験」	H24.8.29	徳島新聞
●激流・奇岩の大歩危小歩危「目指すは国天然記念物」	H24.9.14	朝日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等



H24. 8. 29 徳島新聞



H23. 9. 14 朝日新聞



H24. 8. 29 徳島新聞

評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
●刻みたばこの加工実演OK	H24.9.25	徳島新聞
●落人伝説題材に新作劇「21日の祖谷平家まつり」	H24.10.21	徳島新聞
●襖からくり文化財に「オオヤマレンゲ群落」天然記念物指定	H24.12.21	徳島新聞
●文化財 火事から守れ 三好・石井で防火訓練	H25.1.28	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行う必要である。

状況を示す写真や資料等

2012年(平成24年)9月25日 火曜日

三好市は、400年続く葉タバコの在来種・阿波産製法の伝統文化継承を目的に、刻みたばこの加工実演を阿波池田町の阿波池田たばこ資料館で始める。加工実演などを盛り込んだたばこ特区申請を断念して以降、市は県の協力を得ながら財源確保と協議を続け、従来の状態での加工を条件に、年数回の実演が認められた。10月14日には同資料館でオープニングセレモニーとして加工実演を披露する。

刻みたばこの加工実演OK

三好市は、400年続く葉タバコの在来種・阿波産製法の伝統文化継承を目的に、刻みたばこの加工実演を阿波池田町の阿波池田たばこ資料館で始める。加工実演などを盛り込んだたばこ特区申請を断念して以降、市は県の協力を得ながら財源確保と協議を続け、従来の状態での加工を条件に、年数回の実演が認められた。10月14日には同資料館でオープニングセレモニーとして加工実演を披露する。

三好市 粘りの交渉実る

来月初披露

10月から刻みたばこの加工実演が行われる阿波池田たばこ資料館(三好市池田町)

H24. 9. 25 徳島新聞

2012(H24)10.21(金) 徳島

平家入道(源朝宗)が、阿波池田町池田の落人伝説を題材にした新作劇「21日の祖谷平家まつり」が、阿波池田たばこ資料館で初演される。平家入道(源朝宗)が、阿波池田町池田の落人伝説を題材にした新作劇「21日の祖谷平家まつり」が、阿波池田たばこ資料館で初演される。

落人伝説題材に新作劇

21日の祖谷平家まつり

住民団体創作 見応えある合戦シーン

H24. 10. 21 徳島新聞

2012(H24)12.21(土) 徳島

三好市教委は20日、西谷山村に広がる「オオヤマレンゲ群落」の指定を決定した。また、西谷山村に広がる「ウキヤマレンゲ群落」も指定された。

襖からくり文化財に天然記念物指定

H24. 12. 21 徳島新聞

2013(H25)1.28(日) 徳島

三好市と石井町は、文化財の防火対策として、両町で防火訓練を行った。訓練には、両町の住民や消防団員らが参加した。

文化財 火事から守れ

三好・石井で防火訓練

H25. 1. 28 徳島新聞

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成24年度

項目

文化財の魅力向上につながる取り組み

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

◎伝統的町並み周辺での地域おこしイベントの実施/歴史的風致維持向上計画の重点区域である三好市池田町の本町筋周辺には、阿波葉の刻みタバコ産業で栄えた名残を留めるうだつの町屋など伝統的な町並みが残っているが、この歴史的で文化的な空間を活用したイベントが地元NPO法人や町おこしグループなどの手によって定期開催され、過疎化等で衰退していた町並みにスポットが当てられ、観光PRや交流人口拡大を図るイベントとして注目を浴びた。イベント会場では、多くの参加者がマルシェを楽しむだけでなく、文化財公開施設の旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)を拝観し、館内では刻み煙草の実演が公開され、文化財の魅力向上にもつながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

周辺にある文化財や文化資源をよりイベント参加者にも親しんでもらえるように、イベント関係者との情報交換などが必要である。

状況を示す写真や資料等

- うだつマルシェ イベント参加者 1,000人~2,000人/1回当たり
- 開催場所 三好市池田町 本町筋周辺



刻み煙草の実演(公開)状況



うだつマルシェの開催状況(伝統的な町並みを活かしたイベント)

項目

三好市固有の地域資源の掘り起こしにつながる取り組み

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

三好市には、たばこ産業で繁栄した当時を象徴する伝統的なうだつの町並みが市内中心部の池田町や隣接の井川町に残っているが、これまで池田町においては、過去に町並み調査が行われ、町並みの現状把握や学術的な価値づけが進められてきたが、一方の井川町においてはこれまで調査がされておらず、今回、三好市歴史風致維持向上計画認定を機に、計画に基づく三好市固有の地域資源の掘り起こしを図るため、平成23年度から井川町地区の伝統的な町並み調査に取り組んだ。24年度においても建造物の詳細調査や町並みの古写真を展示するパネル展の開催など町並み調査事業を継続的に実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

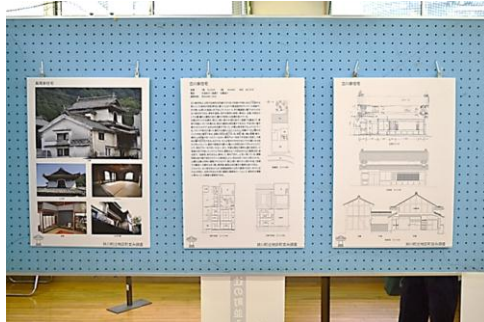
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

市内他地区の伝統的町並みと相乗効果を図るための保存活用策の検討が課題である。伝統的建造物の詳細調査を進めるにあたり、空き家が多く調査に時間を要する。このため、調査委員会を中心にこれらの課題解決に向けた検討を行う。調査成果は、地元でフィードバックし、保存や活性化につなげていく。

状況を示す写真や資料等



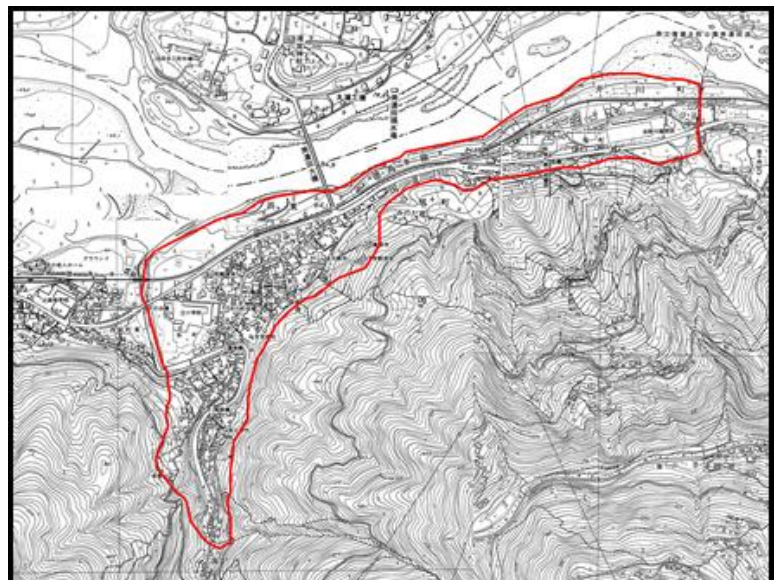
建物の詳細調査状況



町並みパネル展の開催状況



町並み調査委員会開催状況



町並み調査の範囲

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	24年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 平成25年度三好市歴史的風致維持向上計画協議会 (※)	
会議等の開催日時: 平成25年5月20日(月)10:00~12:00 (※)	
(コメントの概要)	
●自己評価に対する各委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する取り組みを実際にしっかりやってもらいたい。毎年度の取り組みが同じ内容になりやすい。実際の実施内容があればしっかり書いておくこと。 ・計画終盤に入ってきたが、既計画の平家伝説、古民家以外にも市内には価値(生活文化の支えとなっている守り神、仏像、彫刻、社寺・仏閣など)のあるものが豊富にある。次回の計画には、その部分の保存について、みんなで取り組める内容(仕組み)を検討してほしい(現在は支援が無く、地元が自主的に行っているが限界にある)。 ・全体的な維持向上には、具体的な事業だけでなく、仕組みづくりも盛り込むことになっているので、そういった面も次回の計画に具体的に取り入れはどうか。 ・重点区域内で現在行われている工事現場の工事看板も景観に配慮できないか。 ・重伝建保存修理事業については当初のガイドラインをしっかり読み込んでほしい。そこと差異が出ないようにすること。 ・重伝建の修景事業について、ガードレールの修景についても苦し紛れの感がみられる。次のステップにどうつなげるか、見直す時期に来ている。重伝建のサインポリシーも検討してほしい。 ・重伝建の石垣の崩壊が確認されなかったので事業を実施しなかったのではなく、日頃から石垣を崩壊させない取り組み(日常点検とメンテナンス)も必要。 ・耕作放棄地対策事業が一部の実施になっているようなので、祖谷地域にも反映できないか。 ・重伝建の保存修理事業について、所有者負担等から茅葺きへの葺き替えが進まない対応として、呼びかけることも大事だが、支援できる体制づくり、どれだけ支援できる仕組みを整えていけるか、課題に入れておくべき。 ・阿佐家保存修理事業について、建物の修理だけでなく、周辺のある神社等の関わり、位置づけもしっかり押さえておくこと。マスタープランにはその辺の味付け(内容を盛り込むこと)も必要。 ・重伝建の空き家保存修理事業(3件)の利用状況はどうなっているのか。また、建物の改修の評価を利用者からどう受けているのか。 ・次回の総合評価には、支援を受けている(受けた)側のコメントも必要になるのか。それらの準備も考えておくことが必要。 ・重伝建落合のくらしを体験するプログラムなども周辺の歴史的風致の維持及び向上にもつながる取り組みだと思う。次回の計画では、ハード事業ばかりではなく、ソフト事業も盛り込んではどうか。 ・文化財の活用を進める取り組みをさらに盛り込んでほしい。 ・計画期間の延長は市内での事業効果の影響や計画の目標達成への十分な取り組み期間を考慮して、平成30年度まで延長してはどうか。 ・計画期間の延長の理由をしっかりとめること。 	
<p>上記のコメントを受け、各進捗評価を全体的に修正した。特に次回の計画に盛り込むべき課題や方針、取り組みについて、委員より具体的なコメントが多く出されたので、今後の計画変更には十分反映させなければならない。</p> <p>※当初、平成24年度末(3月下旬)に開催予定であったが、市議会と重なったため、平成24年度中の開催ができなかった。このため、平成25年5月20日に開催し、24年度分の評価を行った。</p>	